

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

市町名	大崎上島町
所属名	福祉課 介護保険係
担当者名	和田 一美
連絡先(電話)	0846-62-0301

タイトル	介護給付サービスの充実
区分(あてはまるものにチェックを)	<input type="checkbox"/> 自立支援、介護予防、重度化防止 <input checked="" type="checkbox"/> 介護給付費等適正化

現状と課題			
<p>本町は、今後も人口の減少が見込まれるが 85 歳以上の高齢者人口が増加傾向にあり、要支援・要介護認定者数は増加すると見込まれる。</p> <p>今後、要支援・要介護認定者数の増加を勘案して、高齢者の将来推計人口と提供体制等の確保等を踏まえて、居宅サービス、地域密着型サービス及び施設サービス等の介護保険サービス提供基盤全体の見直しを行っていく必要がある。</p>			
第 8 期における具体的な取組			
<p>○介護保険を利用して自立して暮らすために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅サービスの推進 ・地域密着型サービスの推進 ・施設サービスの推進 			
目標（事業内容、指標等）			
○介護保険施設の整備			
《第 8 期計画における介護保険施設の整備目標数》			
区 分	令和 3 年 3 月末入所定員数	第 8 期整備目標数	令和 8 年 3 月末入所定員数
介護老人福祉施設	80 人	63 人	143 人
介護老人保健施設	70 人	△70 人	0 人
介護医療院	0 人	0 人	0 人
目標の評価方法			
● 評価の方法 実績評価のみ			

取組と目標に対する自己評価シート(自己評価結果)

(実績評価)

実施内容

○介護保険施設の整備

R3年度

町内に唯一存在する介護老人保健施設の医師の確保が困難となったため、第8期介護保険事業計画において、介護老人保健施設70床を廃止し、介護老人福祉施設63床を新設すること（介護老人保健施設を介護老人福祉施設に転換すること。）を明記し、令和3年8月開所を目指し募集を行った。

その結果、社会福祉法人ひがしの会が特別養護老人ホームを開設し、介護老人保健施設の入所者のサービスを引き続き継続し、本来の役割である介護老人福祉施設とともに、在宅サービスを始め、介護サービスを継続的に提供することができた。

【介護保険を利用して自立して暮らすための取組として】

- ・介護サービス基盤安定化に係る市町個別支援のフォローアップによる支援

R3年度

令和2年度広島県地域包括ケアシステム充実に向けた保険者支援事業として、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの岩名氏による個別支援を受け、令和3年度に令和2年度のフォローアップとして支援を受ける。

《フォローアップ後》

町外でのサービス利用者の実態把握等行い、今後の取り扱いについて整理した。

在宅生活改善調査を実施し、生活の維持が困難となってきた理由等の把握を行った。

- ・町内介護保険事業所との連携

R3年度

町内の事業所と町とで、今後の介護サービス基盤、事業所と協議及び連携する場として会議を開催した。

町内介護保険事業所連絡調整会議の開催 1回

自己評価結果 【○】 ←(◎, ○, △, ×のいずれか※を記載してください。)

○介護保険施設の整備 【◎】

医療法人ひがしの会から社会福祉法人ひがしの会への法人認可及び介護老人保健施設から介護老人福祉施設への転換も計画どおり整備することができた。

○介護サービス基盤安定化に係る市町個別支援のフォローアップ 【◎】

本町の現状を把握することができ、第9期のサービス基盤等についてフォローアップを受けることができた。

○町内介護保険事業所との連携 【◎】

会議を開催することで、事業所から町への要望や事業所の現状が把握することができ、

事業所間及び事業所と町との連携することができた。

課題と対応策

第9期介護保険事業計画に向け、今後も継続して町内介護保険事業所と連携し、介護サービス基盤について検討していく必要がある。

また、介護保険を利用して自立して暮らすために在宅サービスの充実が必要となってくる。

※「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

市町名	大崎上島町
所属名	福祉課 介護保険係
担当者名	和田 一美
連絡先(電話)	0846-62-0301

タイトル	介護保険の円滑な運営に向けた取組
区分(あてはまるものにチェックを)	<input type="checkbox"/> 自立支援、介護予防、重度化防止 <input checked="" type="checkbox"/> 介護給付費等適正化

現状と課題	
<p>本町は高齢者の人口は減少が続いているが、85歳以上の高齢者人口が増加傾向にあり、要支援・要介護認定者数は今後増加すると見込まれるため、介護給付費が増大していくと考えられる。</p> <p>その中で、介護給付を必要とする受給者を適切に認定し、受給者に必要なサービスを適正に提供することが必要であるため、介護給付の適正化を通じて、効果的・効率的な介護給付の実施を推進していく。</p> <p>また、サービスを安定的して提供するため、福祉人材の確保を図ります。</p>	
第8期における具体的な取組	
○認定調査員の研修	認定調査員及びケアマネを対象とした研修会の実施。
○縦覧点検・医療情報との突合	国保連へ委託により実施。
○ケアプラン点検	町内全事業所のケアプラン点検を実施。
○介護給付費通知	利用者に対して介護給付費通知書を送付。
○住宅改修現地事前調査(申請額10万円以上の案件)	申請額10万円以上の案件については、すべて業者、担当ケアマネ及び利用者等の立ち合いで、適切であるか事前に現地確認を行う。
○社会福祉人材就職支援金支給事業	介護人材の就業促進のため、町内の医療及び福祉施設等への就職を支援。
○福祉人材育成定着事業補助金	介護人材の定着促進のため、社会福祉法人大崎福祉会が行う「就学資金貸付事業」に対し補助金を交付。
○介護支援ボランティア活動事業	元気な高齢者への介護予防の取組みや社会参加の促進のため、ポイントを付与した取組み。

目標（事業内容、指標等）

○介護給付適正化の促進の目標

項目	第8期目標		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認定調査員の研修	1回	1回	1回
ケアプランの点検	4事業所 (町内全事業 所)	4事業所 (町内全事業 所)	4事業所 (町内全事業 所)
住宅改修現地事前調査の割合 (申請額10万円以上の案件)	100%	100%	100%
縦覧点検・医療情報との突合	実施	実施	実施
介護給付費の通知	1回	1回	1回

○介護保険事業を支える福祉人材の確保

・社会福祉人材就職支援金支給事業

大崎上島町内の医療、福祉施設等への就職を支援するため、町内の事業所等への就職を希望する看護師、准看護師及び介護福祉士の方に対し、就職支援金（20万円以内）を支給する。

・福祉人材育成定着事業補助金

社会福祉法人大崎福祉会が行う「修学資金貸付事業」に対し、補助金を交付することにより、町の社会福祉事業を担う若者の地元への就職・定住を図る。

・介護支援ボランティア活動事業

ボランティア活動による人材の確保が図られるよう施策を推進して高齢者の社会参加を図り、地域住民が共に支え合う地域づくりを進めていく。

目標の評価方法

● 評価の方法

実績評価のみ

取組と目標に対する自己評価シート(自己評価結果)

(実績評価)

実施内容

○認定調査員の研修

R3年度

- ・1回実施 認定に関する制度改正及びICFの考え方についての研修を実施。

○縦覧点検・医療情報との突合

R3年度

- ・国保連へ委託により、重複請求縦覧点検や医療情報との突合を実施。

○ケアプラン点検

R3年度

- ・4事業所実施（町内すべての事業所及びケアマネにおいて実施）

○介護給付費通知

R3年度

- ・年1回 587名（令和4年2月14日付通知）

○住宅改修現地事前調査(申請額10万円以上の案件)

R3年度

- ・申請額10万円以上の案件： 22件、事前調査実施件数： 22件

○社会福祉人材就職支援金支給事業

R3年度

- ・支給件数：3人 支給総額：600,000円

○福祉人材育成定着事業補助金

R3年度

- ・新規：0人
- ・継続：1人、補助額：300,000円

○介護支援ボランティア活動事業

R3年度

- ・登録者数：46人、登録事業所数：9事業所
- ・ポイント換金者数：5人、換金総額：7,000円

自己評価結果 【○】 ←(◎, ○, △, ×のいずれか※を記載してください。)

○認定調査員の研修【◎】

居宅介護（予防）サービス計画作成に関し、ICFの考え方について再確認し共有することで介護給付の適正化を図ることができた。

○縦覧点検・医療情報との突合【◎】

国保連へ委託することで、より正確な縦覧点検・医療情報との突合をすることができた。

○ケアプラン点検【◎】

町内すべての事業所及びケアマネにおいて実施し、利用者に適したサービスであるか等介護給付の適正化を図ることができた。

また、国保連が実施しているケアプラン点検支援事業を活用し、ケアマネマイスターによる支援及び助言を受け、ケアプラン点検の質の向上を図った。

○介護給付費通知【◎】

すべての利用者に対して1年間のサービスの実績を通知し、確認してもらうことで不正請求の防止及び過剰なサービスの抑制を図ることができた。

○住宅改修現地事前調査(申請額10万円以上の案件)【◎】

利用者に適した住宅改修であるか等の確認を行った。

○社会福祉人材就職支援金支給事業【○】

(R2実績) 1人 200,000円 ⇒ (R3実績) 3人 600,000円

○福祉人材育成定着事業補助金【○】

(R2実績) 新規：0人、継続：1人 ⇒ (R3実績) 新規：0人、継続：1人

○介護支援ボランティア活動事業【△】

(R2実績) 登録者数：46人、登録事業所数：9事業所

⇒ (R3実績) 登録者数：46人、登録事業所数：9事業所

(R2実績) ポイント換金者数：12人、換金総額：13,000円

⇒ (R3実績) ポイント換金者数：5人、換金総額：7,000円

課題と対応策

介護保険の円滑な運営に向けた取組を継続して行っていく。

人材確保については、事業所と連携し事業の周知について取組を行うことを検討していく。

また、介護支援ボランティアについては、コロナ禍の中でもできることを事業所と再検討し、介護支援ボランティアの活動を推進していく必要がある。

※「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」